

## ●地域環境科学部

### 1. 教育研究上の目的

本学部は、生物に対する深い理解を基調とし、自然と人間の調和ある地域環境と生物資源の保全・利用・管理のための科学技術を確立することを目指すものである。さらに、ミクロな地域環境問題の解決はもとより、マクロな広域環境問題さらにはグローバルな地球環境問題の解決に貢献する人材を養成する。

### 2. 教育目標

地域環境科学部は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) グローバルな地球環境からミクロな地域環境に至るまでの幅広い知識と理解力を有する者。
- (2) 様々な環境問題の解決能力、人と自然との調和ある地域環境や生物資源の保全・利用・管理・運営のための知識や技術を修得した者。
- (3) 環境問題の解決や地域づくりに関わる社会的使命感と高い倫理観を有する者。

### 3. アドミッションポリシー

地域環境科学部は、次のような人を求めている。

- (1) 環境問題や環境共生型・循環型の地域づくり、生物資源の保全・利用・管理・運営に興味を持っている人。
- (2) それらの実現に向けて幅広い知識への関心や柔軟な思考力を身に付けている人。
- (3) それらの実現に向けてチャレンジする意欲を持った人。
- (4) コミュニケーション力や表現力などの素養を持つ人。

### 4. カリキュラムポリシー

地域環境科学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、また学部を構成する3学科において共通して理解すべき学識を修得するために、以下のことに配慮しながら、教育課程を編成し、これに従い教育を行う。

- (1) グローバルな地球環境問題とローカルな地域環境の関係、人間活動と自然環境の関わり、地域づくりの理念と目標に関する理解を深める。
- (2) 実際の地域体験（現場・フィールド体験）を通じて、地域の自然環境や社会的環境への理解を促し、地域環境や地域問題解決への関心・意欲を高める。
- (3) 地域づくりに関わる技術者として、人類社会における技術の位置づけと社会的責務及び倫理観を修得する。

## 5. ディプロマポリシー

地域環境科学部は以下の能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) グローバルな（地球規模の）視野を持ちながらローカルな地域環境に対する知識をもとに、地域づくりに関わる諸問題を総合的に捉え理解し得る能力を有している。
- (2) 環境共生型・循環型の地域づくりに関する諸問題に興味・関心を持ち、その問題を解決する意欲と能力を修得している。
- (3) 地域環境科学に関わる多様な事象を総合的に捉え、生物資源の保全・利用・管理・運営のための知識や技術・表現力を修得している。